

サギタリウス・チャレンジ チャレンジ部門
企画実施報告書

タイトル	毎日みんなが食に困らないための活動	
実施日	2023年 6月 5日 (月) ~ 2023年 2月 21日 (水)	
代表者	学生証番号	氏名
	037613	松田萌花
企画概要	<p>食品ロス問題や食の安全保障の問題など、近年食に関する課題がたくさんある。本学学生の中にも、金銭的な理由や時間のなさなどから十分に食べることができていない人がたくさんいる。そのような学生に、食への興味を持ってもらうために、リーフレットと食品を配布したり、講義を行ったりする。また、食品が足りていない状況に対して、学生にも協力してもらう必要があると考え、フードドライブと食料交換会を行う。</p>	
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・朝にリーフレットと食品を配布する「朝の食品配布会」は、4回行った。 ・食料交換会は法学部焦ゼミのフードドライブと一緒に3回行った。 ・レシピ紹介は、5回に分けて、インスタグラムで行っている。また、ストーリーで実際に自分が作ったときの様子を投稿している。 ・セカンドハーベスト京都の澤田様をお招きして、講義を行った。受講者も30名ほど集まり、セカンドハーベスト京都の行っている活動などを知ることができた。 ・吉岡先生の講義では、あまり人を集めることができなかった。 	
考察	<p>・朝の食品配布会では、たくさん配ることができているものの、学生の食習慣に直接的な影響を与えられているようには思えない。この活動によって、団体や活動自体の認知度向上には役立った。認知度向上からか受け取る人が増え、配布スピードが開催する度に上がった。</p> <p>また、ソイジョイを配っていることに気が付いて受け取る学生も見受けられたことから、ソイジョイを配布することで学生の栄養不足を少しでも改善することができたのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブ・食料交換会に食品を持ってくるのは依然として教授や職員の方がほとんど。また、食料交換会で取り扱っている、賞味期限が1か月以内の食品は大規模に配布できるほど集めることはできていない。イベント自体の認知は少しずつ広まってきているように感じる。 ・レシピ紹介の投稿に対するいいね件数は毎回10件前後であるが、実際に作っている人がいるかはわからない。フォロワーは現在93人。投稿の仕方に工夫はしたが、いいね件数はなかなか伸びず。レシピ紹介自体の需要はある。 ・セカンドハーベスト京都の澤田様による講義は、自分自身も新たな発見があり、関心を寄せる学生も多かったようだった。 ・吉岡先生の講義では、受講者が少なく、セカンドハーベスト京都の講義の際に具体的な 	

	<p>内容を添えて宣伝すべきだった。「食品ロスの問題」には興味があるが、「自分自身の食育」には関心がないのが、現在の学生の現状かもしれない。</p>
<p>所 感</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の食品配布会では、直接的な学生の食生活改善というよりも、団体や活動の認知度向上に効果があった。団体や活動の認知度の向上が、食への関心につながる可能性があるため、それなりの効果は得られたと考える。配布のスピードが上がり、認知度が向上しているという成果を感じることができ、メンバーのモチベーションにもつながった。朝食を食べなかった人にその理由を聞いたところ、「時間がない」「お腹が空かなかった」などの理由が多く、学生の睡眠、運動などの包括的な生活習慣の乱れが原因にある可能性が高い。さらにその背景に、アルバイトや大学の課題、遊びの時間などが関係しており、リーフレットの配布だけでは解決できない問題だと感じた。ただし、ソイジョイの配布が、朝何も食べてこなかった学生に対する応急処置的な意味はあったと考える。 ・フードドライブは、焦ゼミが長年行ってきていることで認知度が向上しているが、何をしているのかが学生に伝わりきっていない場合があるため、もっとわかりやすい説明のポスターなどを掲げて行うとより多くの食品が集まった可能性がある。また、フードドライブでは、食料交換会に付随して、日用品の寄付も集めるなど、より多角的な活動ができるのではないかと考えた。来年以降、Foodies としての焦ゼミへの協力はできない可能性があるが、フードドライブが今後も継続、拡大してほしい。 ・レシピ投稿については、もう少し、学生に実践してほしいと考えているため、投稿の新企画を始めた。初心者でも実践してみようと思えるように、私自身の体験を投稿した。そこから、過去の投稿を見てもらえたという成果もあったが、あまり大きな成果は見られなかった。投稿頻度をもう少し上げる必要もあった。 ・セカンドハーベスト京都の講義企画では、予想以上に多くの学生に参加してもらうことができ、有意義だった。講義から次につなげることがもう少しできたらよかったと思う。 ・吉岡先生の講義に関しては、もう少しワークショップ的なイベントにしたり、食品ロスの話題からつなげるような形にしたりする方が学生の関心を得られたかもしれない。また、セカンドハーベスト京都の講義の際に、もう少し大々的に宣伝したほうがよかった。